

# 北海道芸術デザイン専門学校 教科目概要(授業カリキュラム)

職業実践専門課程 環境デザイン学科(2年制)

## クラフトデザイン専攻

※2017年度実績

教科目		概要	1年次	2年次
一般教養	一般教養	社会人としての一般教養、常識、礼儀等を学ぶ。	○	
	クラフトデザイン概論	クラフトデザインの業種や社会背景、歴史、技法の概要を学ぶ。	○	
	就職講座Ⅰ	就職を前提とした本校での学校生活の過ごし方や、学習姿勢、社会人になるための基本を学ぶ。	○	
	就職講座Ⅱ	デザインの現場での採用試験の傾向、エントリーシート、履歴書の作り方、作品の準備、プレゼンテーションおよび面接試験対策を学ぶ。		○
	企業研究	業界と職種構成。企業が望む人物像を学ぶとともに、自分の希望業種、職種を理解し、就職活動目標を定める。		○
英会話		初歩的な英語の運用能力を養う。	○	
造形デザイン		立体構成、造形の基礎知識を演習課題を通して身につける。また彫刻、伝統工芸・生活工芸の歴史的背景、地域との結びつきなども総合的に学ぶ。	○	
色彩		デザイン構成要素、色彩について基礎的な理論を学ぶとともに、色彩士検定3級取得を目指す。	○	
デッサン		描画技法の基礎授業。対象の観察にはじまり、形態や空間の把握と描写力を身につけ、質感、量感、動静の表現力を養う。	○	
木工基礎演習		木材の基礎知識、木工技術の基礎技法、道具の使い方を演習課題を通して学ぶ。	○	
陶芸基礎演習		陶土、釉薬、焼成方法の基礎知識、陶芸の基礎技法、道具の使い方を学ぶ。	○	
工芸概論		伝統工芸の基礎知識、技法を学び、演習課題を通して継承されている手仕事の技術を学ぶ。	○	
鑄造基礎演習		銀を使って、アクセサリ基礎演習課題制作。ロストワックス技法の習得を目指す。	○	
木工演習Ⅰ		ツールや箱の課題制作を行い、木材の切削、ジョイント、仕上げの流れを学び、段階的に技術向上を目指す。	○	
陶芸演習Ⅰ		ろくろの基礎技法を茶碗やカップなどの課題制作を通して身につける。	○	
金工演習Ⅰ		金属の工芸技法である、鍛金-たんきん-を課題制作で学ぶ。	○	
鑄造演習Ⅰ		基礎演習に引き続き、ロストワックス技法での演習課題を行う。基本形から装身具としての機能を持ったオリジナルデザインを制作。	○	
製図デザイン		JISに基づく製図法を用いて三面図の作図と各種透視図法を学び、さらに図面から実制作まで一連に行うことで具現化への理解を深める。	○	
環境デザイン		企業連携授業。社会や人との関わり合いを学び、コミュニケーション能力を高める総合学習。ものづくりの背景理解として地域と資源活用、暮らしと生活について、課題研究、成果発表を行う。	○	
DTP演習Ⅰ		Illustrator、Photoshopのグラフィックソフトの基礎操作を習得。	○	
金属加工基礎演習		金属の知識、加工技術を学ぶ。切削、ジョイントを主体に道具の使い方を演習課題を通して学ぶ。	○	
プランニング		デザイン製品を実制作するまでの過程を学ぶ。企画立案から素材研究、製品の試作、完成品の提出とプレゼンテーションを行う。	○	
木工演習Ⅱ		多様な木材の知識、加工技術を基に演習を通してオリジナル家具の制作を行う。	○	
陶芸演習Ⅱ		工芸的な技法を取り入れながら、様々な土や、釉薬を使うことによって性質理解と技術向上を目指す。	○	
金工演習Ⅱ		工芸的な技法を取り入れながら、様々な金属を使いその加工技法で、性質理解と技術向上を目指す。	○	

## 北海道芸術デザイン専門学校 教科目概要(授業カリキュラム)

選択科目	貴金属加工演習	宝飾、彫金技法の基礎を学ぶ。パーナーによるロー付けを主体に、課題制作では技術理解をすすめる。知識として貴金属(金やプラチナ、銀)を学ぶ。	○ 1科目 選択	
	DTP演習Ⅱ	コンペ応募、研究発表のための、ビジュアル表現も含めプレゼンテーションの総合的なセンスを磨く。		
	表現基礎演習	立体造形の基礎授業。可塑性を使いながら三次元の演習課題に取り組み、表現の拡張と、それに伴う要件の解決を考えることが目的。	○	
	空間表現	作品制作において、要素、素材、技法による造形的可能性を広げる目標を持つ。演習課題での造形物制作では、イメージを伝達できる力をさらに高める。		○
	プレゼンテーション	情報発信のスキルを向上する授業。他者に向けて伝える力、伝わる表現方法を実践的に学ぶ。また就職に向けてのポートフォリオ制作。		○
	CAD演習	三面図の作図から3Dモデルまで、CADソフトによる家具デザイン、システム理論、操作方法を学ぶ。CAD検定取得を目指す。		○
選択科目	素材研究Ⅰ	素材理解を深める授業。課題としては実験的な制作、素材の加工を行い、そこから得られる気づきや発見を発表する。		○ 7科目 選択
	造形演習Ⅰ	社会と人との関わり合いをコミュニケーションデザインとしてプランニングを行う。多様な素材の知識、基本的な加工技術を基に演習を通して、モノと環境、暮らしとの結びつきを反映しオリジナル作品制作を行う。		
	木工・陶芸・金工・鋳造各演習Ⅲ	木工では大型機械の実践的な使用、治具制作、旋盤加工を学ぶ。陶芸では大型作品や注器などの制作、金工では生活工芸品の制作、鋳造では宝飾に要する成形や石留技法といったステップアップが目標。木工・陶芸・金工・鋳造それぞれ選択可能。		
	造形演習Ⅱ	循環資源の活用方法や、最新の技術を学ぶため、連携企業からのデザイン課題に取り組み、実践的授業。制作において構成や造形美を深く知る。		
	素材研究Ⅱ	循環資源の活用方法や、最新の技術を学ぶため、連携企業からのデザイン課題に取り組み、実践的授業。今後の制作活動の資料となるような取り組みを目指す。		
	木工・陶芸・金工・鋳造各演習Ⅳ	木工では家具や木製品の制作、陶芸では登り窯制作活動、金工では溶接技法の課題制作、鋳造では異素材を装身具とする課題など、複合的な技法を用いた課題制作を行う。木工・陶芸・金工・鋳造それぞれ選択可能。		
	木工・陶芸・金工・鋳造各演習Ⅴ、Ⅵ	木工では成形合板など技法へのチャレンジ制作、陶芸では造形的なオブジェ制作、金工では銅や銀を用いた彫金の課題制作、鋳造では貴金属装身具技能士検定対策など、より技術の向上を図る。木工・陶芸・金工・鋳造それぞれ選択可能。		
	前期課題制作	日常の実習を通し学んだ発想・技法を生かし、前期の総まとめとして、課題制作をする。	○	○
	後期課題制作	日常の実習を通し学んだ発想・技法を生かし、後期の総まとめとして、課題制作をする。	○	
	進級制作	実材作品、プレゼンテーション資料など規定の課題数を提出、発表を行う。1年次最終課題でもあり、1年間の総合的な学習成果が求められる。	○	
	卒業制作	在学中に学んだ専門知識技術などの専攻色を十分に生かして、自らテーマを設定した数週間の長期制作。まさに各自のメモリアルワークとなる。		○
	総履修時間		1200	1200
取得目標資格		在学時:建築CAD検定、ガス溶接技能者、Illustratorクリエイター能力認定試験、福祉住環境コーディネーター、色彩士検定、ビジネス能力検定ジョブパス 有機溶剤作業主任者講習、貴金属装身具製作技能士など		

※1年間で1,200単位時間、2年間で2,400単位時間学びます。

※時勢や企業のニーズにより、内容が変更になることがあります。